

資料 3

安全度チェックカード

所属 車体係 ○ ○ 職場

氏名

作業内容

メイン 2st (RH)

	評価項目 (作業エリア)	○印	評価点 1	○印	評価点 2	○印	評価点 3	○印	評価点 4	○印	評価点 5	安全点	気がかりな点
1	身体の一部を切る事はありませんか	○	身の廻りに切れる物があり、取扱いもある		切れる物があるが取扱いはほとんど無い		手や顔の高さに切れる物はあるが、届かない		作業エリアには切れる物はないが、無理をすれば手が届く		身の廻りに切れる物はない	1	ワークを滑らせ切創する
2	身体の一部を挟まれたり、巻込まれる事はありませんか		柵やカバーが無い所に、挟まれる所がある		挟まれる箇所に柵やカバーはあるが簡単に外れる		挟まれる箇所に柵やカバーはあるが、不備な状態や破損がある		通常では挟まれる事はないが、無理をすると挟まれる	○	身の廻りに挟まれる箇所はない	5	
3	段差凹凸があり転倒する事や、作業の疲れはありませんか		段差凹凸があり転倒や、疲れがひどくなる		段差凹凸があり、神経を使う事がある	○	段差凹凸はあるが、災害に至るものではない		段差凹凸があるが、使用もしないし通行も無い		作業床は平坦である	3	パレット治具とプラットに段差有り
4	運搬車両 (フォークリフト、牽引車、手押し台車等) にぶつかる事はありませんか		運搬車両が行き来してぶつかるおそれがある		運搬車両との接点が時々あるのでヒヤリ、ハットする事がある	○	運搬車両との接点が時々あり、ぶつかる恐れがある		運搬車両の行き来はあるが、作業エリアに入ってくる事は無い		身の廻りに運搬車がある事は無い	3	フォークリフトの爪が作業エリアに進入する
5	飛散物 (スパッタ、ショット玉、劇毒物等) が、身体に当たったり、かかる事はありませんか		周辺に飛散物があり、常に身体に当たったり、かかったりする		飛散状態があるので、時々身体にかかる事がある		飛散状態は時々ありカバー、保護具等で覆っているため身体にかかる事は無い		飛散状態は無いが、設備が損傷した時に身体にかかる事がある	○	周辺に飛散物の発生源は無い	5	
6	作業中に走る事はありませんか (全作業)		常に走り回っている		走る事は度々あり、ヒヤリ、ハットする事がある		走る事は時々あるが、危ない状態にはならなかった		走る事はほとんど無いが急ぎ足になる事がある	○	走る事は全く無い	5	
7	暗く感じる事はありませんか		暗く感じて作業に時々影響がでる		暗く感じるけれども作業に影響は無い		明るさは良いが物の影がうつり気になる		明るさは良いが書類を見たり書いたりする時に不便を感じる	○	作業に全く支障を来さない	5	
8	重量物を手で持って移動する事はありませんか		重量物の取扱いがあり、負荷がかかる		重量物の運搬移動距離が 1m 以上ある		重量物の取扱いはあるが、ほとんど機器で対応する		重量物の取扱いはないが、機器の損傷時には発生する	○	重量物を取扱う事は無い	5	
9	指や腕に負担がかかる事はありませんか		非常に大きな筋力を要する作業が一日中ある		筋力を要する作業が一日に数回ある		筋力を要する作業とは思えないが、体力的に疲労を感じる	○	筋力を要する作業はあるが、余り負担にならない		筋力に負担を感じる作業は無い	4	
10	気になる音はありませんか		大きな音が常時有り、耳栓等の保護具も着用していない (100dB 以上)		大きな音は時々あるが、耳栓等で保護している (85 ~ 100dB 未満)	○	気になる音はあるが、耳栓等の着用で保護している (80 ~ 85dB 未満)		気になる音は無いが時々不快に感じる事がある (70 ~ 80dB 未満)		音による不快は全くない (70dB 未満)	3	パレット治具搬入時、押し込みの押さえの音
11	腰曲げ作業で負担はかかりませんか		腰への負担が強くかかる		腰への負担がある	○	腰への負担が少しある		腰への負担は気にならない		腰への負担はない	3	ワークをセットする時、しゃがみ姿勢となる
12													
評価点		A	1 × 1 = 1	B	0 × 2 = 0	C	4 × 3 = 12	D	1 × 4 = 4	E	5 × 5 = 25	$\frac{A(1)+B(0)+C(12)+D(4)+E(25)}{5 \text{ or } 5.5 \text{ or } 6}$	
												= 7.6	

評価日 H . .

評価実績

重量物、負担とは本人が感じるものは全て入る

今回の安全度	前回の安全度	進捗度 (%)
7.6	8.3	

資料 4

機械・設備安全度チェックカード 車体系 ○ ○ 職場 機械・設備No. 及び名称 2CX 工程 メイン2st(RH) 評価者

No.	評価項目		評価点 1	○印	評価点 2	○印	評価点 3	○印	評価点 4	○印	評価点 5	安全点	気がかりな点
1	安全柵	固定状態・ボルト緩み・固定点数	立て掛け、据え置き、差込引っ掛け		ダルマ式で固定されているが欠落がある		ダルマ式で全て固定され取り外し不可で緩みなし		六角ボルト又はソケットボルト固定されているが欠落穴がある	○	六角ボルト又はソケットボルトで全て固定され取り外し不可で緩みなし	5	
2		形状・高さ	身体の一部が危険点に充分届く		形状・高さは規格通りであるが脱着（差込）式になっている		無理をすれば身体の一部が危険点に届く		160cm以下ではあるが危険点に身体の一部が届かない	○	160cm以上で危険点に身体の一部が届かない	5	
3		床面との開口部	開口部から侵入出来る				開口部15cm以上ではあるが侵入出来ない			○	開口部15cm以下で伸縮不可能な形状	5	
4		扉	扉が脱着可能		内開きで扉が、装置等に干渉する		内開きであるが出入りに問題ない	○	外開きで強固な構造ではあるが出入りに難をきたす		外開きで強固な構造となっている	4	
5	安全装置（安全プラグ、リミットSW、光電管、安全マット、非常停止釦、非常停止ロープ）		安全装置がない		装置に表示はしてあるが身体の一部が危険点に侵入できる		部分停止機能ではあるが稼働領域に身体の一部が進入すると停止する装置がある		部分停止機能ではあるが稼働領域に身体の一部が侵入出来ない	○	全停止機能、又はフェールセーフ機構になっている	5	
6	残圧		残圧処理装置がない	○	残圧を抜く装置があるが表示がない		残圧処理装置の表示はしてあるが操作が困難（複数）		残圧を抜く装置の表示がある。操作が容易な位置にある（単独）		動力源OFFで残圧が自動的に落ちる	2	
7	柵内作業	異常処置、メンテナンスティーチング、段替、チョコ停発生件数	1000件以上/月		100～999件以上/月		50～99件以下/月	○	2～49件以下/月		0～1件/月	4	T20パレット上段が高所
8		足場	作業スペースが全く無い	○	足場に代わる物を持ち込むか若しくは既設の配管等を利用して安定性が得られない		足場に代わる物を持ち込むか若しくは既設の配管等を利用すれば安定性が得られる		専用足場を持ち込む事によって作業スペースが確保出来る		既設構造上作業が安全に出来るスペースがあるか、又それに変る物が設置してある	2	出荷の搬出困難
9	非常停止機構の位置（共同作業）		周囲に機構がない		中間点に監視人を設ける位置にある		人の動きは判断出来るが設備の動きは判断出来ない位置にある	○	人と設備の動きは判断出来るが障害になる要因の環境が残っている		人と設備の動きが容易に判断出来る環境の元で監視できる位置にある	4	
10	色・汚れ		塗布された色が剥離していたり、錆、腐蝕がある		付着した汚れを落としても元の状態にならないし汚れの発生源が不明確		付着した汚れを落とせば元の状態になる	○	付着した汚れを定期的に清掃し維持している		塗布された色が常に鮮明に維持されている	4	
11	両手起動操作釦		両手釦の内側の距離が300mm以下中央部に非常停止釦が無いものは全て		釦の時間差で起動がかかる（0.5秒以上）		起動釦は一つではあるが危険点に身体の一部が届かない	○	安全第1工程機能になっていないが安全装置で規制されていない		安全第1工程機能になっている	4	
12	環境（精度・騒音）		管理区分「3」と照度75Lx以下		管理区分「2」で照度150Lx以下		管理区分「2」であるが照度基準150Lx以上を確保している		管理区分「1」であるが照度基準150Lx以下	○	管理区分「1」と照度基準150Lx以上を確保している	5	
13	表示（法規）機能を示す表示 注意・警告		表示がない		注意・警告の表示位置は適切であるが注意・警告の内容に具体性がない		注意・警告の表現に具体性があるが表示位置が適切でない	○	表示位置が適切で尚かつ注意・警告の表現に具体性がある		表示位置が適切でおかつ作動範囲及び注意・警告が明確になっている	4	
評価点			A	0×1=0	B	2×2=4	C	0×3=0	D	6×4=24	E	5×5=25	

評価実績

評価年月日	今回の安全度	前回の安全度	進捗度（％）
年 月 日	4.1	4.3	

評価ランク評価点

5 = 65～60 (但し1項目でも評価「3」があると下位ランクに下げる)
4 = 59～52 (但し1項目でも評価「2」があると下位ランクに下げる)
3 = 51～39 (但し1項目でも評価「1」があると下位ランクに下げる)
2 = 38～26
1 = 25以下

＊但し該当しない評価項目のある場合は5点で計算する。

総合計

$A(0)+B(4)+C(0)+D(24)+E(25)=(53)$

安全度： $\frac{\text{総合計}}{13} = 4.1$

評価ランク：(3)